**維持管理マネジメント**

**「大阪府都市基盤施設長寿命化計画（素案）」P82抜粋**

#### 維持管理業務の評価（効果）の検証

（基本的な考え方）

本計画の取組を適切に府民へ伝えるために、維持管理業務の評価（効果）の検証を行うことが重要である。その際の検証・評価で留意すべきポイントは、以下に示すように、プロセス、アウトプット、アウトカムの3点が考えられる（図 １.1参照）。都市基盤施設の維持管理業務において、例えば、長寿命化対策等については、アウトプット（長寿命化対策）がアウトカム（長寿命化）として現れるには時間がかかる場合があることや、その効果を定量的に計測することも困難であることから、当面は、プロセス評価・アウトプット評価により検証・評価行うなど、分野施設の業務毎に評価手法を検討する必要がある。

今後、データを蓄積し、アウトカムの計測方法等分析が可能になったものから段階的に、アウトカム評価を取り入れていくことが望まれる。

また、上記の基本的な考え方を踏まえ、現時点での知見等を考慮し、各分野・施設「行動計画」において、分野・施設毎の維持管理の評価指標を設定するべきである。　設定例を、表 １.1に示す。

##### プロセス評価

ＰＤＣＡサイクルによるマネジメントシステムを前提として、点検、パトロールおよび補修等の実施状況を確認し、計画通りの行動が行われたかどうかの検証・評価するもの。

##### アウトプット評価

点検、パトロール及び補修等の実施結果を確認し、インプットに対して適切なアウトプットが得られているかどうか検証・評価するもの。

##### アウトカム評価

府民の視点からみたアウトカムを設定し、検証・評価するもの。



図 １.1　維持管理業務の検証・評価（例）

表 １.1　事業評価（検証）のイメージ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 分類 | 分野  施設 | アウトカム評価  （目　標） | アウトプット評価 | プロセス評価 |
| 日常 | 道路 | 府民の安全・安心  ・管理瑕疵の減  ・苦情要望の減 | ・発見数、対応数の確認  ＊対応率の向上  ＊発見数の向上 | ・パトロール計画の履行確認 |
| 計画 | 橋梁 | 府民の安全・安心  長寿命化 | ・目標管理水準の確保状況  目標管理水準達成橋梁/全橋梁＝達成率  ・全橋梁の健全度の平均  （健全度率） | ・長寿命化計画（10箇年のうち３箇年）の進捗率  対策済/全要対策＝進捗率 |
| 計画 | 舗装 | 府民の安全・安心 | ・目標管理水準の確保状況  　各路線のMCIの水準確保 | ・長寿命化計画（10箇年のうち３箇年）の進捗率  対策済/全要対策＝進捗率 |